

災害から 身を守る！



問合せ 総務課消防防災係 ☎ 311

傾斜が急な山や川が多い日本では、前線や台風によって毎年のように土砂災害などの自然災害が発生しています。

昨年の夏も台風やゲリラ豪雨などによる風水害が発生し、日本各地で大きな被害をもたらしました。災害はいつ発生するかわりません。今年もこれから風水害が多く発生する季節になります。平常時にこそ、風水害が発生したときに何が必要か、どのように行動すべきかを考え、準備することが大切です。

毛呂山町では、内水氾濫や洪水など浸水害の懸念もあることから、ハザードマップや^{*}タイムライン等を確認し、早めの防災行動がとれるよう準備しましょう。

その他に、外秩父山地の一部である町西側の山間部では、土砂災害防止法に基づく、土砂災害警戒区域および土砂災害特別警戒区域に指定されている区域を含め土砂災害の懸念があります。

風水害から身を守るためには、どのように行動すべきか考えていきましょう。

^{*}タイムラインとは、災害を予測して作成する行動計画です。

浸水害

洪水や内水氾濫などにより水があふれ、建物や土地、道路などが水につかってしまう災害です。水につかった道を避難する事は大変危険です。町からの避難情報に注意しながら、早めの避難を心がけましょう。

洪水・・・大雨などで川の水が増え、堤防が壊れたり、堤防を越えて水があふれたりすること

内水氾濫^{ないすいはんらん}・・・降り続いた雨を下水道などが流しきれずにあふれてしまうこと



土砂災害

土砂災害は **がけ崩れ 地すべり 土石流** の3種類に分類されます。大雨や地震等が引き金となって、すさまじい破壊力

を持つ土砂が、一瞬にして多くの人命や財産を奪う恐ろしい災害です。土砂災害には前触れとなる前兆現象がよく見られます。大雨の時は特に注意し、状況によっては自主避難しましょう。



日ごろから風水害に備えるには？

ハザードマップやタイムラインを確認するなど、災害に備え、普段から家族で話合いましょう。また、長雨や豪雨はある程度予測可能なので、テレビやラジオ、インターネットなどによる情報収集を行うとともに、町から発令される避難情報を確認してください。



町から避難情報が発令されたら？

災害発生の危険性が高まった場合、町は避難情報を発令します。避難情報は以下の3つに分類されます。

避難準備・高齢者等避難開始

避難に時間を要する方（高齢の方、障害のある方、乳幼児などとその支援者）は避難を開始してください。

その他の方はいつでも避難をできるように準備してください。

避難勧告

避難所へ速やかに避難してください。

避難所への避難が危険な場合は「近くの安全な場所」か「自宅内のより安全な場所」へ避難してください。

避難指示（緊急）

すぐに（緊急に）避難してください。

既に災害が発生していてもおかしくない極めて危険な状況です。避難所への避難が危険な場合は「近くの安全な場所」か「自宅内のより安全な場所」へ避難してください。

避難するときは？

川に近づかない

川や用水路、水田などの様子を見に行かない。

運動靴をはく

長靴は水が入って歩きにくく危険。ひもでしめられる運動靴をはく。

足元に注意

浸水している場合はマンホールや道路の側溝には近づかない。冠水している道は通らない。

長い棒を杖にしながら歩く

長い棒を杖の代わりにして、溝がないかなど足元を確認しながら歩く。

災害の危険性が高まったら？

避難所等の安全な場所に避難してください。時間帯や気象情報などにより、屋外への避難がかえって危険と判断される場合は屋内の安全な場所（崖から離れた部屋や建物の2階）で過ごしましょう。

